

久万高原町
議会だより

第10号

2016年
8月



女神石

主な内容

世界の上黒岩岩陰遺跡	2	産業建設常任委員会	12
議長挨拶	3	定例議会	13~15
行政報告	4	出前懇談会	16~17
一般質問	5~8	森林環境税	18
平成28年6月定例議会	9	新しくできた委員会	19
総務文教厚生常任委員会	10~11	編集後記	20

世界の上黒岩(かみくろいわ)岩陰遺跡

久万高原町には、日本の国宝(重要文化財)になってもおかしくない「考古資料」があります。1962年から1970年まで発掘調査がおこなわれた上黒岩岩陰遺跡からみつかった資料です。



上黒岩岩陰(1960年)

縄文時代は約1万6千年前から、2800年前に農耕のはじまる弥生時代まで、日本列島独特の文化であるとも

に、私たちの暮らしの大きな礎となったと考えられています。この縄文時代のはじまりを考える上で、上黒岩岩陰遺跡はきわめて重要な遺跡なのです。

中でも1万4500年前の縄文時代草創期の地層からみつかった女神石(石偶)は、世界でも上黒岩でしかみつかっていない、非常に特徴的なものです。日本列島で暮らした人々が、女性をどのようにイメージしてきたか、知ることが出来る古い事例が、上黒岩岩陰遺跡からみつかった石偶たちになるのです。

また、約1万年前の縄文時代早期の大量の人骨が見つかったことから、多くの情報が得られます。日本では、旧石器時代の人骨はあまりなく、わたしたち日本人の起源

を考えるうえで、上黒岩岩陰の20体以上の人骨は多くの情報をもたらします。特に、寛骨にへラ状の指突具の刺さった女性人骨は1万年前のヒトに対する尊厳を考えるうえで、私たちに様々なことを教えてください。



寛骨に刺さった刺突

そして、縄文人の暮らしを考えるうえで、大量の動物の骨がみつかったことも大きな特徴です。中でも約7千年前の早期末の埋葬されたイヌは、おそらく海からこの山中まで来ている可能性が高いです。

上黒岩岩陰遺跡からみつかった様々な資料は一級品のものです。私たち日本人の歴史や精神文化を考えるうえでと



日本最古の埋葬犬

でも大切な資料です。私たちはこのことを認識し、これらが1日でも早く、久万高原に戻ってくるように努力しなくてはなりません。

久万高原町教育委員会学芸員
遠部 慎



議長あいさつ

久万高原町議会議長

高橋 末廣



開会にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

梅雨に入り、大変うつつしい毎が続いております。これも秋の实りをもたらす自然の恵みと考えましたら、そういった恵みに対する感謝を持たなければならぬのかなというふうに感じております。昨夜、また熊本の方で5弱の地震がありました。最初の地震からもう2カ月たつておるわけですが、不安な毎日を過ごされておるといふことをごさいますして、早くおさまらないものかと願っておる次第でございます。

また、休会中には、同僚の大変残念なことがございました。個人的な、プライベートなこととはいえ、同僚議員として、本当に残念に思い、また私たちも反省もしなければならぬと思います。

今後は交通法令の順守はもちろんのこと、日頃の生活の中で、議員としての自覚ある行動をしていかなければならないと改めて認識いたしました。

町民の皆さんには、深くお詫びを申し上げます。

また、今日6月議会でございます。理事者のほうから、22案の議案が提出されております。いずれも重要な議案です、慎重審議の上、スムーズな運営にご協力をいただきまして、すようお願いをいたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

自己紹介

久万高原町議會議員

天野 辰晴



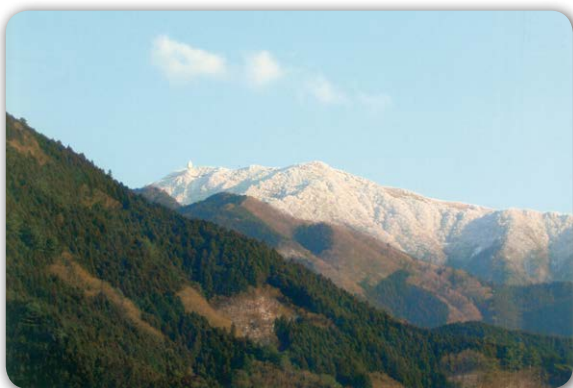
平成28年7月10日執行された久万高原町議會議員美川選挙区補欠選挙において、無投票当選した天野辰晴です。

私は標高700mの地、二籠(フタツノ)で農林業で生計を立てて生活しています。

松山市農協久万トマト部会員として40aの耕作者です。春4月の接木育苗作業に始まり、秋11月の後片付けまで、妻と長男の三人でトマト栽培をしています。冬は山林の杉檜の間伐作業を行い、雪の中ではドラム缶で作った炭窯で炭焼きと自然あふれる山の中で暮らしています。

二籠には赤蔵ヶ池、猿樂、土佐街道、矢竹と歴史も有り、広大な自然のある地域でもあります。高齡化が進み閉塞感一杯です。

こんな現況の中、早く町内の現状を知り把握し、議員としての活動を思い考えています。又、自然相手に暮らしている私にとつては、何事にもどんな問題にも自然体で当たって行きたく思っています。新米議員です。よろしくお願ひ申し上げます。



トマト畑より望む初冬の明神山

町長行政報告並びに招集あいさつ



高野宗城町長

6月定例会の開催にあたり、ごあいさつを申し上げます。皆様方には町政運営にあたりましてご理解ご協力いただきありがとうございます。厚くお礼申し上げます。

はじめに、4月16日に熊本県で発生した震災においては、東日本大震災の教訓をもとに、いち早く全国からの支援体制を整えられました。本町におきましても直ちに備蓄物資を、熊本県御船町及び宇土市へ送るとともに、4月30日から5月14日までの間、熊本県南阿蘇村へ4名の職員を派遣いたしました。

未だ多くの方々が避難されているとのことでございます。被災地の本格的な復興を心からお祈りし、今後も微力ながらできる限りの支援を行って参りたいと考えており

ます。

それでは、行政の動きについて、ご報告申し上げます。

まず、3月26日から29日にかけて町長杯ラグビーフットボール大会を、また、4月9日から10日にかけては、平成29年に開催されるえひめ国体を前に、7人制ラグビーのリーグ大会として「関西セブンズフェスティバル」を久万高原町ラグビー場で開催いたしました。

県内でトップを切つてのリーグ大会でもあり、中村時広知事をはじめ、多くのご来賓や視察の方々を訪れていただきました。

また、サブグラウンドでは、婦人会や生活研究協議会による、「うどんのおもてなしコーナー」や無料ドリンクコーナーも設置していただき、選手や観客の方に大変喜んでいただきました。

いくつか課題も見つかりましたので、本大会に向け、まちが一丸となって大会を盛り上げられるよう万全の準備を進めて参りたいと思っております。次に、自治会長会についてご報告いたします。

今年度の自治会長会を、5月23日・24日の2日間で開催し、町からの連絡事項をお伝えするとともに地域におけるご要望などを、町内4会場でお伺いしました。自治会長さんから切実なご要望をたくさんいただきましたので、可能なものから、迅速に対応したいと考えています。



自治会長会のようす

また、自治会長会には、県・市町連携政策の一環として、久万高原土木事務所からもご出席をいただき、県管理道路に係る要望を、住民の皆様から直接聞いていただきました。ことに、感謝したいと思います。続きまして、6月2日には、松山市役所において、「松山圏域活性化戦略会議」が開催

されました。これは、中予地域3市3町の産・学・金・官・民が経済、福祉等幅広い分野で連携することにより、圏域の一体的かつ持続的な都市圏を形成することを目的として設立された会議です。

会議では「まつやま圏域未来共創ビジョン公表案」が議題とされ承認されました。今後は、本議会に上程させていただきます。引き続き「松山市との連携中枢都市圏形成に係る連携協約の締結」についてご承認いただきました後に、施策の実施に向けて具体的な協議を行うこととしておりますので、よろしくお願いいたします。

最後になりましたが、6月23日には、最新の施設、装備を有した、新しい消防庁舎が開所する予定であります。今後は町の消防・防災の中枢拠点としてこの庁舎を活用し、町民の安全安心のためにいっそう努めなければならぬと、職員共々気持ち新たにしているところでございます。

次に、今議会に提案する議案でございますが、合計22件でございます。

いずれも、十分なご審議を賜わり、適切なご決定をいただきますようお願いを申し上げます。あいさつといたします。

一般質問



中野克仁議員

問 今後の町政運営を問う

答 当初予算は1年の計画、執行、考え方の予算である。

問 3月議会において、高野町長は、3期目の出馬を表明し、その中で、まだ残している仕事等々があるので、総仕上げとしてというふうに答弁しているが、平成28年度当初予算で、その意思が反映した案件が感じられない

答 どのような事業で、総仕上げとするのか、具体的にお答えいただきたい

答 当初予算は、1年の計画を立てた予算の執行、画を立けた私共の考えだ。

私は私なりに反映していきたい。町民が、安心して、安全に、そして長生き出来る、頑張つて行こうと言う気持ちでしていく事を報告し答弁とする。
高野町長

問 考えは分かるが、具体的に何かないか

答 少子高齢化の中で、産業、医療、福祉、また建設などあるが、町全体が明るく、そして活性化する事が、私の考えだ。
高野町長

問 町民のところ、やり残した事がある、むしろ残らないと出来ん事がある、と言われたが、一般町民には分からない高野宗城氏でないとできない事とはなにか教えていただきたい

答 いろんな所で私が話をしていて、実行する、しない、今、ここで答弁は控える。
高野町長

問 3期目出馬することについて、将来どういう

ことをするか全然見えんのでは、僕も質問したくないが、これから考えたことを、徐々に修正予算で上げてやっていく。先ほどの質問については、今は言えないのか

答 当初予算では色々な事を盛り込んでいる。選挙がどうのこうの、こういった所でこう言った、ああ言った、ことについては、今は答弁もしかねるしすることは、難しい問題である。

問 通告して質問している。こういうことをするためにこの事業をやり、一つづついい言って欲しい

答 産業のこと、福祉のこと、財政のこと、教育のこと、沢山ある。今年の28年度で反映させながら、前向きで取組むのが私達の役目だ。
高野町長

問 事業をもって、色々な問題を解決し、次のステップに進んでいく、これが予算だと思う。当初予算であれ、修正予算であれ、1億5、6千万円の交付金

が減っていく予想のもと、下げたり上げたりして、当初予算が出てきて、金額は組まれている。その中で、何か一つこれをやったという、答弁は出来ないか

答 当初予算で主な事業は、財政、保健福祉、生活、教育、文化こういったものを一般会計で組み込んでいく。見ていただければ、28年度の主な予算は、十分理解いただけると思う。後日、目を通して頂きたい。
高野町長



議会風景



川崎勝弘 議員

問 認知症の取組を問う

答 様々な対策を講じている。

問 久万高原町は60歳以上の人口が、全体の54%を占めている。特に75歳から84歳の年代が多い中、健康寿命を伸ばす事が大きな課題である

85歳以上の高齢者4人に1人が発症すると言われ、早く対応すれば症状を軽くし、進行を遅らせる事ができる
本町には、認知症地域支援推進員があり、家族への支援体制も整え、他市町村よりも進んでいるが、早期受診、早期診断への取組を伺いたい

答

久万高原町は高齢化率が県下一番高い46%に近い。人口減少社会を迎える中、行政が行う対策は心身共に健康で長生き出来る環境を整備する事に尽きるのではないかと。

本町では少なくとも640名の方がおられ身近な病だ。

対応として、認知症地域支援推進員を役場に3名、社会福祉協議会に3名の6名配置し、支援に当たっている。

また、気軽に話し合える認知症カフェの、5月からの開催で手応えを感じている。

他には、医師や保健師が初期の段階からかかわる、認知症初期集中支援チームを他市町に先駆けて設置している。

高野町長

問

認知症は二人の病者を生み出す、一人は認知症患者もう一人は介護する家族だ

当町の健康寿命は、男女共六十五、六歳であり、この年をめどに。早期受診を促し、

脳検査の案内をしてはどうか

また、MRIなどの脳検査は、費用がかかる。一部を助成すれば、受診し易くなる

案内と検査の助成は出来な
いか伺いたい

答

変化を感じて医療機関の受診まで9・5カ月

と言われており、町は認知症初期集中支援チームを設置し、サポーターの養成、セミナー、物忘れチェック、予防教室など、地域での啓発や予防活動を推進している。認知症の正しい理解、早期発見、早期受診の大切さを啓発し、また交流の場所づくりを推進する。

まず地域で見守り、支える仕組みづくりを、住民の皆さんと一緒に取り組んでいく。

脳ドックの実施補助については、今後の動向をみなが検討する。 重見保健福祉課長

問

認知症ガイドブックが配布され、発症してからのことはカバー出来ている

答

認知症ケアパス等医療、地域を支える体制は、

現在構築中である。
早期治療薬、副作用の関係、薬のところまでは、現在はまだ出来ていない状況である。

重見保健福祉課長

認知症治療は、薬物療法が中心的な役割を果たしている
中核症状の治療薬、周辺症状の改善薬といろいろあるが、副作用の連絡経路の確立、状況の把握はされているか伺う



認知症ガイドブック



瀧野 志 議員

今回は4問の質問をする

問 道の駅は、3月議会の産業建設常任委員会で、道の駅の事業会計は、次年度から特別会計へ移行すると答弁された。間違いないか

答 特別会計への移行については、道の駅「天空の郷さんさん」の経費の明確化を図ることを目的とする。

一般会計の歳出の予算科目に道の駅の目(項目)を新設することも可能だが、指定管理へ移行の関連もあり、総合的に検討していく。

開業初年度から、民間の企業会計に準じた記帳を行い、貸借対照表、損益計算書を作成した上で、運営協議会に対して報告しており、予算決算書で仕分けのきかない部分の棚卸資産や、未収金、未払金の処理などを含めて説明している。

高野町長

問

役場の会計は、単純簿記だ。複式簿記は、全く違うわけで、毎日それぞれの日計を切って、貸借がきちんと合ってその日のうちに全ての決算がわかる。これは以前何回も言ってきたが当時、委員長と、ちゃんとしようという約束であった。いまだに出来ていない。自分のところで売り上げたものを、どのように使って、幾らお金足らんから、役場からこれだけ出した

これはしっかりした決算である。いまだかつて出したことはない、後の質問にも関係するが、いつやるのか

答

瀧野議員からは、再びにこういつた質問をいただいている。私も複式簿記が明確であることはわかっている。今は、一般会計の中でやっており、いずれしなくてはいけない。指定管理へ移行の流れの中で、解決を続ける。

高野町長

問

問題がわかっている、全ての議案について、議会と相談しながら、議会は承認してきた。それは複式簿

記でやる、3年後に、指定管理にすること、これは決定した事実だ

それを途中で、対応してから後で、そのうち考えて決める、そんなばかみたくないことはない、議会も責任あるのではないか

今回の総事業費は9億2425万1千円というお金をかけている。昭和47年ごろ自然休養村事業、ふるさと村、国民宿舎「古岩屋荘」、木工センター、自然休養センター、きのこ園、その他事業に9億3千万かけた事業をやっている。宿泊施設ができたり、観光客が随分ふえたり、大きな事業目的が達成された。今回は全然、それが精査されていない。それなのに、4億7千万、道の駅周辺事業をやる、これは町の持出が60%、大坊線の3千万入れたら、5億の事業。もともたなる道の駅の決算ができていないで、これをするのはおかしい

決算ができていないのに、なぜ周辺事業を発注するのか

答

3月議会でも説明したが、基幹事業として、道路整備、公園整備、まちなか交流館施設整備を含んでおり、町が懸案となっているま

ちなか、中心部の、整備しなくてはならない事業を、都市再生の整備計画事業で対応している。

高野町長

問

道の駅周辺事業は、都市計画区域のみにできる事業だ

予算は、地域が平等に、将来に向けて、ちゃんと計算ができて、全てのことのできて、とり組んでやるべきだ

地域へ出て行って、町民と話すと、なぜ町内だけで我々はほったらかしかと聞く。国土交通省がやる大きな事業を取ってつけたような事業、どうしてもせないかんことじゃない

60%も町の金を持ち出してやらないかん、おかしいのではないか

答

皆さんの、少しでもいいように、町が活性化するようにと思いつつある。道の駅を計画しつつある。道の駅のお客が、面河溪、四国カルストにどんな足を運んでどこにでも、大きく活性化していくことに期待して、交流事業を進めている。

高野町長

問 道の駅事業は、将来的に大きな赤字が出る、ちやんと責任をとるのか

答 責任とるか取らんか、個人的問題ではない。あくまでも成功するために、やっている。高野町長

問 最終的にお金が足らなければ、町民がだす町の責任だ。主権在民、町民が一番偉いのだ

答 私も責任は十分感じている。一生懸命に頑張っていく。高野町長

問 道の駅は、複式簿記や3年後の指定管理へ移行すると、議会との約束であつたが間違いないか

答 検討委員会や、公聴会、出荷者協議会の場でも、おおむね3年後をめどにと説明している。経営力向上計画策定事業で移行が望ましいとの結論も受け、ある程度の安定した経営状況を踏まえ、速やかに調査研究に取りかかっている。高野町長

問 指定管理に移すのに、はつきりした決算書が出ないで、指定管理料どうやって決定するのか

答 決算書は出している。指定管理は、2年から3年ですぐできるか、色々問題を検討している。高野町長



道の駅「天空の郷 さんさん」

問 ちやんとした決算書を出してきたら

答 企業会計に準じた記帳を行い、何億といった投資への減価償却も含めたもので、運営協議等々へ報告している。中身については昨年、専門である議員、それから支

配人の中で数字について、理解いただいたものと、あの時は思っていた。中川企画観光課長

問 高齢者や障がい者が土日のバス便がなくて困っている、町長の考えを伺う

答 JR四国バス、伊予鉄南予バス、代替バスなどがあり、主な利用者は児童、生徒、続いて高齢者、障がい者の方が利用している。休日は、減便か全面運休となっている地域もある。本年4月より関係各課横断で検討チームを設置し、検討している。高野町長

問 我々議会が立ち上がった、やるぞと言ったから、どれくらいの予算が組めるのか聞く

答 公共交通として、予算を捻出しているのは、約4200万。やろうとする施策に対して慎重に検討する。佐藤総務課長

問 町の起債(借金)は平成18年の議会との申し合わせを知っているか伺う

答 平成18年度末、一般会計他約149億円、特別会計他約114億円全体で263億円だった。平成19年3月の瀧野議員の一般質問を受けて、平成19年度以降は、単年度の借入額を10億円以内に抑制し削減に努めた。平成27年度の町債の残高は、163億円の見込みである。9年間で約100億円の削減を行った。高野町長

問 起債の返還は20年近い時間がかかり、極端な人口減少社会の中で、この借金に対する考え方を一言で言ってもらおう

答 160億円の負債を、子供や孫のために減額する事が大きな私たちの使命です。いま69億円の基金と差し引いたらどうかという問題ではない、差し引いて払うことは出来ない。高野町長

平成28年

6月定例議会

6月13日～6月17日

6月13日から17日までの5日間開催し、損害賠償の専決処分(報告)2件、専決処分(条例改正5議案・補正1議案)6議案、条例の一部改正2議案、28年度補正予算(一般会計・特別会計)4議案、松山市との連携協約について1議案、辺地総合計画の策定について1議案、町道路線認定について1議案、固定資産評価委員の選任について1件、繰越計算書等報告4件、議会会報特別委員の解任5件、議員派遣1件、専決処分(工事変更請負契約の締結・損害賠償に係る和解損害賠償額)2件、28年度一般会計補正予算(参議院選挙費用)1議案、経営状況報告(株みかわ・柳谷産業開発公社)2件、意見書4件、議会議員の定数に関する特別委員会の設置1件、議会会報特別委員の選任1件

□ 平成28年6月補正後予算額

総 額	146億4140万円	(5435万円増)
一般会計	83億4802万円	(4564万円増)
特別会計	41億1406万円	(870万円増)

□ 平成28年6月の主な補正

歳入

国庫支出金	1944万円
県支出金	290万円
繰越金(前年度繰越金計上)	2084万円
諸収入(自治総合センター助成金)	100万円

歳出

臨時福祉給付金の給付費など	1847万円
在宅寝たきり老人等介護手当支給事業費	423万円
面河溪の魅力を高める事業など	241万円
浄化槽事業特別会計繰出し金	498万円
災害救助訓練用資機材(久万小少年防火クラブ)	129万円
埋蔵文化財活用事業	140万円
災害復旧費(農道2路線)	120万円

総務文教厚生常任委員会

報告第4号

損害賠償に係る和解及び損害賠償額の専決処分の報告について

佐藤総務課長

報告書に基づき説明
 公用車が加入している自動車損害共済事業。全国町村会の総合賠償保険制度について説明

報告第5号

損害賠償に係る和解及び損害賠償額の専決処分の報告について

高橋建設課長

報告書に基づき説明

問・瀧野委員

町道は行政責任がある。台帳や修理箇所はどうしているか

答・高橋建設課長

受信簿等に対応。整理し、修繕も行う。

議案第58号

久万高原町国民健康保険税条例の一部を改正する条例に関する専決処分の報告について

賦課限度額の引き上げ、軽減措置に係る所得判定基準について引き上げる。

議案第59号

久万高原町立幼稚園保育料等徴収条例の一部を改正する条例に関する専決処分について

国の示す階層に区分し、第一階層を無料とする。

議案第61号

久万高原町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

国家公務員の育児休業等に関する規定の改正に伴い同様の対応を行う。

議案第62号

久万高原町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

4階以上の建物、火災避難時に煙が来ないような構造とする。

問・瀧野委員

タクシー等営業のない時間(夜間)において高齢者の交通手段について、福祉・消防等の申し合わせはあるのか

答・重見保健福祉課長

福祉課だけでは対応できない。役場の中で検討していく。



消防署

議案第63号

平成28年度久万高原町一般会計補正予算(第1号)

予算の補正額は、歳入歳出ともに4564万円が追加され総額は83億4802万円、8.9%の減

歳入の主なもの

国庫支出金1944万円の増
 (臨時福祉給付金1847万円)

県支出金290万円の増
 (新ふるさとづくり総合支援事業補助金219万円)

繰越金2084万円の増
 (前年度繰越金の計上)
 諸収入100万円の増(自治総合センター助成金)

審議

問・瀧野委員

問もなく公会計が始まる。辞書の引き方(スマートフォンなど)を知っていることが大事

答・佐藤総務課長

住民の目線に立ってわかりやすい公会計になる様勉強していく。

問・瀧野委員

支所を盛り上げる事業や取組について支所長に説明を

答・大野面河支所長

県新ふるさとづくり総合整備事業実施。面河溪の情報発信セミナー。代表者会をし、県事業を取り組む。

答・梶家美川支所長

上黒岩遺跡、担当課と相談し力を入れて来た。雑穀の活用。ぬえ伝説の英語版も。

答・岩市柳谷支所長

中津地区の活性化。若者の定住など自治会と連携。小さな拠点づくり。

歳出の主なもの

総務費1万円の増

県補助事業を活用して、高原のまちイメージ戦略事業業務委託料100万円
面河溪の魅力を高める事業や地域の自立を目指す事業241万円
人件費531万円の減

民生費2334万円の増

臨時福祉給付金等の給付費1847万円
介護保険事業特別会計繰入金565万円
在宅寝たきり老人等介護手当支給事業費423万円
人件費700万円の減

消防費170万円の減
少年防火クラブに災害救助訓練用資機材購入費129万円
人件費299万円の減

教育費1213万円の増
小学校・幼稚園の臨時雇用賃金300万円
埋蔵文化財活用事業140万円
人件費608万円の増

審議

問・田村委員

在宅寝たきり老人扶助費の金額は

答・重見保健福祉課長

平均月額7500円。

議案第64号

平成28年度久万高原町国民

健康保険事業特別会計補正予算(第1号)

予算の補正額は、歳入歳出それぞれ86万円が増額され総額は16億4936万円

歳入
国庫補助金86万円

歳出

国保事業納付金算定対応連携システム開発業務委託料86万円

議案第65号

平成28年度久万高原町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)

予算の補正額は、歳入歳出それぞれ225万円が増額され総額は17億635万円

歳入

一般会計繰入金565万円の増

地域支援事業国交付金165万円の減

歳出

在宅寝たきり老人等介護手当支給事業費423万円の減
人件費643万円の増

議案第67号

松山市との連携中核都市圏

形成に係る連携協約の締結について

地方自治法第252条の2第1項の規定により、本町及び松山市における連携中核都市圏形成に関し、連携協約を結ぶものである。(連携協約は、松山市及び久万高原町が、相互に役割を分担して連携を図り、地域を活性化し、経済を持続可能なものとし、住民が安心して快適な暮らしを営むことができる魅力のある圏域の形成に資することを目的としている。)

議案第68号

久万高原町辺地総合整備計画の策定について

「辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律」第3条の規定に基づき、辺地総合整備計画を策定するものである。(黒藤川・西谷・中津の3辺地で、林道開設・改良事業である。)

委員会付託議案、審議した結果、全員一致で「原案のとおり可決すべきもの。」と決定した。

産業建設常任委員会

議案第63号

平成28年度久万高原町一般会計補正予算(第1号)

歳出の主なもの

衛生費1223万円の増
 浄化槽事業特別会計繰出金498万円
 人件費725万円

農林水産業費88万円の減

農業公園臨時雇用賃金108万円
 人件費288万円の減額など

商工費144万円の減
 人件費144万円の減

災害復旧費120万円の増

農道の災害、一般業務委託料120万円

議案第66号

平成28年度久万高原町浄化槽事業特別会計補正予算(第1号)

予算の補正額は、歳入歳出それぞれ558万円が増額され総額は4299万円

歳出の主なもの

浄化槽設置工事費497万円

問・山之内委員

将来的に何基ぐらいまで設置するのか

答・浮田環境整備課長

下水道整備計画は、平成28年から平成39年度までの計画、現在低調で年間10基を下回っている。トータルで500基、現在400基管理している。

議案第66号

町道路線の認定について

問・中野委員

まだ舗装されていないが予定は

答・高橋建設課長

二年前から要望のある件である。負担金の関係もあり負担金を安く町道にして事業の承認を受け進めたい。

問・中野委員

負担金は?

答・高橋建設課長

どの事業で実施するかわからないので、負担金を安くする様対応したい。

其の他

問・中野委員

町内で古い住宅が多いが耐震化申請状況は

答・高橋建設課長

平成18年より始まり今回の地震で耐震化の意識も高まり平成28年度は10件の問い合わせがあった。

問・中野委員

当初予算にワイヤーメッシュの予算が組まれていたが申請及び実施の状況は

答・土居農政課長

5月までの締め切りであったが当初予算は、満額となつた。



ワイヤーメッシュ

問・中野委員

高原の町イメージ戦略・面河溪の魅力事業について

答・佐藤総務課長

JRバスにラッピングをして町の観光を売り出す、JRバス路線(松山市内を予定)面河溪の魅力を高める事業は情報発信、地域の魅力調査、平成27年度より始めている、地域運営協議会の設置に向けての事業、県の補助事業を利用してゆく。

委員会に付託された議案、審議した結果、全員一致で「原案のとおり可決すべきもの。」と決定した。

平成28年6月13日 提案された報告6件、議案16件の審議の中で(質疑の要約)

報告第4号

公用車での接触事故の和解と損害賠償の報告

問・中野議員

町全体で年間の自動車損害共済の支払い額は

答・佐藤総務課長

後で報告する。

問・中野議員

事故をして使うと保険料は上がるのか

答・佐藤総務課長

変化ないと思うが、後で報告する。

報告第5号

町道の側溝鉄板が跳ね上がり車の損傷で和解と賠償の報告

問・瀧野議員

以前にも町道の事故があつ

た、人身事故に近づいている、死亡事故では幾らまで

答・高橋建設課長

賠償責任保険、身体賠償は2億円まで、財物賠償は2000万までの補償契約である。

問・瀧野議員

町の橋が崩れて落ちた、バス1車、全部出るか

答・佐藤総務課長

橋の管理責任がどうか、ドライバの運転過失、限度額の範囲内となるかどうかと思う。

問・瀧野議員

事故が多くなつて、大変な事故が起きつつある。保険が有るから大丈夫と、答弁をうけるが、どちらの方が責任を取られるのか

答・佐藤総務課長

ハンドルを握る機会の多い部署もある。繰り返し、巻き返し、安全運転に心掛けるように、現場の安全運転管理者として、しっかり引き締めていきたい。

問・中川議員

広い町内、色々な物件、施設があるが、管理体制の現状は

答・高橋建設課長

道路の異常は、地域からの情報で対応しているのが現状。すぐに現場へ出向き調査、確認、小規模なものは修繕。日々点検しながら走行している、修繕等徹底したい。

問・中川議員

限られた人数で管理を徹底することは無理、地域住民と共有を図って情報をえる。地域担当職員がどのような役割を果たしているのか。松山に住居の職員は当然難しい。地域との共有、職員全体の共有を図っていただきたい

報告第9号

下水道事業BCP(災害発生時の事業継続計画)作成委託業務を28年度に繰越す報告

問・瀧野議員

財源が足りないとか、仕事が遅れたか、どうして繰り越したのか

答・浮田環境整備課長

昨年、入札を行っていた。調査に若干違いがあり繰越した

問・瀧野議員

課内の仕事が出来ていなかったのか、財源が無いので繰り越したのか

答・浮田環境整備課長

財源は平成27年度で確保されている、事務的な調査が予定よりかかった。

問・瀧野議員

町内には、いろんな業者、いろんな仕事を持った人が沢山いる。仕事の関係で遅れることのないように、当該年度に出すよう努力されたい

答・佐藤総務課長

年度内の執行が大原則です。土木工事では、受益者がいる場合には、調整に時間がかかったり、あと国の補正予算の時期が遅かったり、色々なケースがあるが、可能な限り年度内執行できるように努める。

平成28年6月17日の
報告と議案の中で
質疑された要約

報告 佐藤総務課長

6月13日答弁発言の一部訂正。

町内の交通機関のバスは、費用対効果の視点でなく福祉の視点から検討していく必要がある。

公用車に係る自動車損害共済掛金は、台数184台、302万円の見込み。事故による掛け金の変更はない。

議案第63号

一般会計補正予算(第1号)の中で

問・瀧野議員

20代、30代の子がここで働き生活できる、取組についてお聞きする

答・土居農政課長

農業公社で平成10年度から取組、約20名程の後継者が就農している。

問・瀧野議員

後継者については、早急に取組むべきでは

答・高野町長

公社の研修生約30名の卒業生がいる。今後の取組については、議員からも議会からのご指摘、ご指導お願いする。

答・菅 森林林業課長

森づくりの人材確保育成、産業力強化で取り組む。林業講座の企画、自伐林家向けの実習を行う。I・Uターンの方を少しでも育成したい。

問・瀧野議員

久万の農業・林業は将来性があると聞いているが対策は

答・菅 森林林業課長

県の補助事業を使い認定林業事業体に補助金、新たな起業に町単独事業で機械の補助も行っており、続けていく。

議案第66号

浄化槽事業の補正予算で

問・瀧野議員

補助対象に満たない取組は、年限を切っては

答・高野町長

安心してくらせる、環境にも良い生活のため、もう少し続ける。

答・浮田環境整備課長

整備計画は平成18年に立てられた20年計画です、10年になり後10年は推進する。

問・瀧野議員

補助の対象は10台、対象でない金額はいくらか

答・浮田環境整備課長

補助率は3分の1、あとは起債を起こす一般財源は1割程。

問・瀧野議員

人口減少の時代ですから、計画の見直しの検討は



農業公社研修の様子



山林間伐風景



町道(平井二笹線)

答・高野町長

国また県の補助対象の中で、あと10年間進める。

議題第69号

平井二笹線の町道の認定について

問・瀧野議員

負担金を安くとの報告で、条例のどの分を当てたのか

答・高橋建設課長

町道の舗装は、用地補償がある場合3%、伴わない分は2%の負担率です。

報告第10号

消防庁舎新築工事975万円追加契約の専決処分の報告

問・中川議員

内容の変更の説明を願う

答・織川消防長

建物の基礎下部の地盤改良工事に設計変更・受水槽・内装外装工事に一部手直しの変更。

問・中川議員

ずっと前に分かっていたのでは、もつと前に出すべきでは

答・織川消防長

基礎工事は9月から、変更の確定が先日まで遅れた。

問・瀧野議員

受け取る側のミスか、それとも不測事態が起きたのか

答・織川消防長

ボーリング調査を4箇所実施し、ある程度把握していた

が、掘って見ると差異が予定より大きいこと、やむを得ないものと判断した。

報告第12号

株式会社みかわの経営状況報告書について



道の駅「みかわ」

問・瀧野議員

受託料は幾らか、社長がかわった時の理事会の議事録を

答・中川企画観光課長

議事録は後ほど提出する。受託料は、収支清算の中の委託料の中に事業ごとの料金が明記されており、ご確認頂きたい。

問・瀧野議員

一般会計からの繰入金額は

答・中川企画観光課長

繰入金はありません。

久万高原町議会出前懇談会及び 地域巡回視察

久万高原町議会では、平成27年度は新たな試みとして、「過疎・高齢化と移住・定住」をテーマに、1月18日面河地区、2月16日久万地区、3月4日柳谷地区（名荷地区参加者16名・中津地区参加者27名）、3月8日美川地区（黒藤川地区参加者29名）において、それぞれの地域に向き、実情把握や意見交換会を実施した。

より周辺部の声を町政に反映し、活性化の一助とし、今後の議会活動の参考にするため、座談会方式とし行った。町内6会場を予定していたが、積雪で延期となり、3会場での開催となった。

各会場では、議長挨拶、議員の自己紹介の後、事前に配布したアンケート結果を基に、議長を座長として実施した。

柳谷中津地区では、主に「移住・定住」をテーマに。

移住・定住するには、一番に住むところがあり、次に仕事があり学校の通学の便もあり、そして地域に魅力があることが大切であるとの意見を賜った。



出前懇談会・中津

また他の地区では主に「過疎・高齢化」をテーマ、意見交換会を実施したが、各会場とも鳥獣被害対策、買い物や通院・通学の足の確保対策、介護の問題、基幹産業である農林業の活性化、数多くの貴重な意見・提案を頂いた。

多忙なうえ寒い中、足を運んで頂き、また各会場で貴重な意見を賜り感謝致します。意見を定例議会でも一般質問させて頂き、地域の声を政策に反映するように、町に提言します。



出前懇談会・西谷



出前懇談会・黒藤川

また、今後の開催においては日程や会場の設定、配布資料の検討を重ねて充実させていきます。

今回訪問させていただいた地域で、事前アンケートや会場準備から片付けまで、自治会や参加者の皆さん、各支所長に協力頂いたこと、重ねて感謝いたします。

最後に、積雪のために直瀬・父二峰・大川の懇談会を開催する事が出来なかったことお詫び致します。



大宝碎石

出前懇談会・アンケートの集計(要約)

過疎・高齢化では

- 道路、河川の整備と草刈り
- 免許返納後の足の確保
- 介護、認知症、産婦人科
- 鳥獣被害
- 婚活への対応
- 農林業の振興（林業大学校の誘致）
- 防災、一時避難場所確保
- 小さな拠点づくり
- 除雪の対応

移住・定住では

- 住宅確保と空き家活用
- 空き家改修に補助を
- ネット接続の改善を
- 空き家情報の発信を
- 若人、子育てへの支援
- 幼稚園の送迎

その他のご意見(要約)

名荷 地区

- 年1回の懇談会開催を
- サルが出る、冬の車便悪い
- 買物週1回、移動販売車
- 飲料水、台風時の修理
- 作業路の林道への昇格
- 老人ホームを大きく多く
- 護岸工事、本村トンネルの照明を明るく

中津 地区

- 田舎住まいのメリット付け移住増加へ
- 小学校の人数少ない今のままでは離れて転校
- 個々の活動やイベントに補助金を
- 通学バスは中津地区まで
- 学校の統廃合前に移住者と子供の増加へ、通学バスの運行改善、住宅確保と整備、小さな拠点作りを
- 空き家直しへ補助金、移住者が住める住宅、空き家維持への補助、ネット接続の強化へ
- 町が主体でハローワークを
- 空き家改修補助の早い展開
- 空き家情報の状況を回覧で
- 若い人たちの生の声を議員へ伝えることが出来た

黒藤川 地区

- 平井林道の舗装を
- 道路脇の木の伐採、道路の整備と草刈りを
- 街路灯を多くし、夜を明るく、道を良く、猪が出る
- バス便多くして便利に、病院の診療科目を多く

下直瀬 地区

- 町中心部だけでなく、各地域にも目配りを
- 路面整備、若い人の働く場
- お年寄りの力が発揮できる場所作りを
- 若者の働く場所を、町内で診療科目が少ない
- 買物に不便、久万中央まで走らないと購入できない
- イノシシの被害に困る
- 子どもが少ない
- 婚活に行政として取り組むべき、議会広報の充実を
- 農林・観光以外の産業創設、誘致、地域の活性化を
- 上高の生徒増加対策、防災行政無線は大雪や台風の情報を、議会の意識改革

父二峰 地区

- 産婦人科がない、産科医師の常駐を、運転免許返納後の移動対策、地域に自主的に参加する組織がない、女性も農業研修を
- 若者の住みやすい環境を
- やる気のある移住者を誘致
- 子育て支援、林業機械補助
- 町の方針や取組を明確に、人口増加へ、「若い人」「子育て世代」の意見や想

大川 地区

- いへ耳を傾ける
- 農業振興、移住、空き家有効利用を積極的に
- 主要産業の農林業を総合戦略で活動展開を
- 議会広報・懇談会は町政の動きわかるので積極的に
- 美術館等3館の町からの補填は、
- 自然と共生した生きがい作りを
- 380号線の上空支障木の除去を
- 林産物での所得向上、若者の移住の仕事、耕作放棄地の活用検討を
- 地域おこし協力隊の受け入れ体制強化を
- 移住・空家対策で定住促進
- 災害時の避難場所を近くに
- 用水路未工事の早期着工を
- 道を良く、後継者を、専門医を、買物・通院が遠い、獣害を少なく、除雪を
- 認知症の早期発見に住民健診に取り入れては
- 箱ものつくるのは、いい加減にやめたら
- 高齢者の生活によい方法は
- 地域の人口減で中心部と同じ行政サービスが可能か

今こそ

「全国森林環境税」の創設を

全国森林環境税創設促進連盟・議員連盟の活動

市町村が主体となった森林・林業施策の推進は、地球温暖化防止のみならず、国土の保全や地方創生、快適な生活環境の創出などにつながりますが、市町村には、そのための恒久的・安定的な財源が大幅に不足しています。

このため、両連盟は市町村が主体となった森林・林業施策等を推進するための新たな税財源「全国森林環境税」の創設を悲願として、活動を続けています。

全国森林環境税のイメージ

全国森林環境税

(都市・地方を通じて国民が等しく負担)

山村地域の市町村に対し、
補助裏・地方単独事業の税財源として配分

山村地域の市町村

木材利用の
拡大

森林の
整備・保全

山村の振興
雇用創造

「森林環境税」の早期実現を

山村地域の市町村にとって長年の念願であった「森林環境税」の創設に関して、大きな進展がありました。

昨年12月16日政府与党の28年度税制改革大綱において、「都市・地方を通じて国民に等しく負担を求め、市町村による継続的かつ安定的な森林整備等の財源に充てる税制（森林環境税（仮称））等の新たな仕組みを検討する」と明記され、本年6月2日「骨太の方針」として閣議決定されました。

木材価格の低迷や林業従事者の高齢化・後継者不足など、厳しい情勢の中にある山村地域にとって、森林整備等に市町村が主体的に取り組む財源は必要不可欠であります。

これを機会に私たち住民も一体となって早期実現に向けて取り組んでいきたいものだと思います。

なお、この運動は市町村長の「全国森林環境税創設促進連盟」と市町村議会議員の「全国森林環境税創設促進議員連盟」が中心となって運動しており、久万高原町議会議



全国森林環境税創設促進連盟・議員連盟の活動

長が愛媛県を代表する「理事」を務めています。去る7月21日、岐阜県高山市で開かれた第23回の定期総会にも出席し、早期実現に向けて全国の関係市町村議会の皆さんと、より強力に運動を展開することを誓ってまいりました。町民の皆様のご理解とご協力をお願い致します。

新しくできた、また委員の変更のあった委員会

町交通対策等に関する特別委員会 (7名)

- 委員長 中川 武志
- 副委員長 中野 克仁
- 委員 瀧野 志
- 委員 西山 清一
- 委員 日野 明勅
- 委員 玉井 春鬼
- 委員 高橋 末廣

議会議員の定数に関する特別委員会 (7名)

- 平成28年3月18日定例議会
- 委員長 中野 克仁
 - 副委員長 西山 清一
 - 委員 瀧野 志
 - 委員 中川 武志
 - 委員 田村 昭子
 - 委員 長山 淳志
 - 委員 玉井 春鬼
- 平成28年6月17日定例議会

議会議報特別委員会 (7名)

- 委員長 山之内敏秋
- 副委員長 上沖 教一
- 委員 川崎 勝弘
- 委員 日野 明勅
- 委員 長山 淳志
- 委員 玉井 春鬼
- 委員 天野 辰晴



議会議員の定数に関する特別委員会



議会議報特別委員会

9月定例会予定日は9月30日から1週間の予定です。

日程が決まれば防災行政無線で連絡いたします。多数の傍聴お願い致します。



町議会の傍聴のお願い

- 1 一般席の定員は、30人
- 2 自己の住所、氏名及び年齢を傍聴人受付簿に記入
- 3 傍聴人の守るべき事項
 - ① 拍手その他の方法により公然と可否を表明しない
 - ② 談論し、放歌し、高笑い、その他騒ぎたてない
 - ③ 鉢巻き、腕章、たすき、リボン、ゼッケン、ヘルメットの種類を着用し、又は張

り紙、旗、垂れ幕の類を掲げる等示威的行為をしない

- ④ 帽子、外とう、襟巻の類を着用しない
- ⑤ 飲食又は喫煙をしない
- ⑥ みだりに席を離れない
- ⑦ 不体裁な行為又は他人の迷惑となる行為をしない
- ⑧ 議場の秩序を乱し、又は議事の妨害となるような行為をしない
- 4 写真、映画等の撮影、及び録音等の禁止
- 5 すべて係員の指示に従う
- 6 違反に対して、議長は、これを制止し、その命令に従わないときは、これを退場させることができる



(写真) 久万高原町ハイランドパーク あじさいの花

編集後記

6月から編集委員が全員入れ替わりました。前号まで掲載していましたがアンケート葉書は、使用されておりませんので今回は休止と致します。郵便はがきで、匿名のお問い合わせについてわかる限りお答えします。

1 内容がわかりづらい、議会活動が伝わりにくい。

○近隣市町村では、インターネットによる議会中継とホームページで会議録の公開を行っています。当町では通信網のインフラ整備が遅れているためにアクセスの不良が懸念されます。また経費をかけたわりには、期待したアクセスが無いと答える町もあります。

議会事務局では、会議録の閲覧とコピーを規定の申し込みと料金の支払いにより行っています、お申込み下さい。

○議会広報やホームページなどで、活動が伝わるように努めます。

2 公共工事の掲載を

工事発注予定並びに入札情報は、町のホームページ及びえひめ電子入札共同システムで公表されています。

3 何人が読んでいるかアンケート調査を

全ての町民に読まれているか、私達編集委員も心配しています。経費をかけないで調査する方法の検討を行っていききたいと思えます。

山之内 敏秋